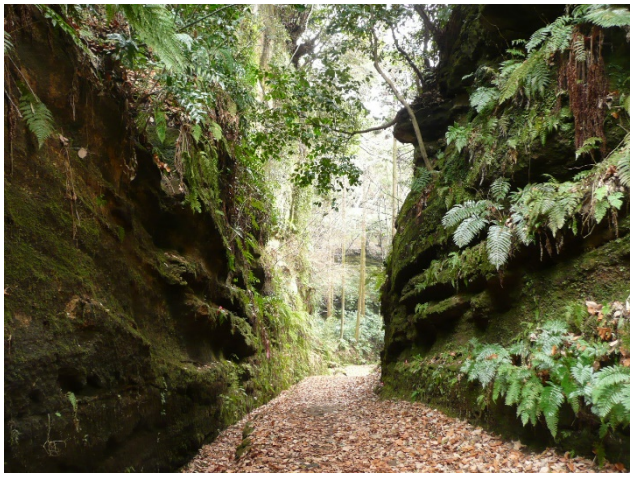
２９．鎌倉街道－七口切通（かまくらかいどう　ななくちきりどおし）

選定箇所：大仏切通・仮粧坂・巨福呂坂・亀ヶ谷坂（鎌倉市）、朝夷奈切通（鎌倉市～横浜市）、名越切通（鎌倉市～逗子市）

概要：三方を丘陵に囲まれ一方に遠浅の海が開ける鎌倉は、海上交通路の拠点として由比浦、和賀江嶋、御霊前浜が発達する。陸上交通は低いが険阻な丘陵を横断する必要があるため、鎌倉の出入り口にあたる丘陵には切通が作られ、後に朝夷奈切通・名越切通・亀ヶ谷坂・仮粧坂・大仏切通・巨福呂坂・極楽寺切通の７つの切通をもって「鎌倉七口」と称されるようになった。また、切通は鎌倉と外部との往来口であったため、鎌倉の防御上きわめて要衝の地域であり、戦略的に重要な意味を持っていた。

仮粧坂（鎌倉市）



朝夷奈切通　小切通（横浜市）

名越切通　第一切通（逗子市）